

信和建設



信和建設
(大阪府豊中市)
代表 前田裕幸氏

屋上緑化など建設と環境との共生を取り入れている信和建設(大阪府豊中市)は2010年6月の竣工を目標に、屋上に貸し農園付きマンションを建設する。

同社は「環境」と「コミュニティ」をテーマに自社開発マンションを手掛けている。

環境への主な取り組み

環境共生とコミュニティづくり 屋上農園で実現させた会社の夢

屋上貸し農園付きマンション

活動としては、基礎の下にある住環境づくりとは、敷く石をクラッシュという廃材コンクリートに変える有効利用が挙げられる。自社開発物件については屋上緑化、省エネ型給湯器を取り入れるといったプロジェクトを積極的にやっている。

また、鉄筋コンクリートの構造を残し内装設備を改装することで、建物の寿命を延ばすスケルトン・インフィル工法の推广应用も行っており「建物を壊さず、数世代が住める家」を提案している。

一方、コミュニティの

ある住環境づくりとは、ある住環境づくりとは、ミニトマトやハーブなどを栽培している家庭が増えている」と社内での話題になったことが同物件の企画のきっかけだったそう。各家庭で細々と野菜を作るのならば、自社で手掛ける屋上緑化を農園に変更すること。

人々とのコミュニティを作る長屋文化の復活という願いを込めている。今回のマンションは屋上緑化ではなく農園にしたのだが、それはある一つのアイディアが基になっている。「昔ではバルコニーにプランターを置

き、ミニトマトやハーブなどを栽培している家庭が増えている」と社内での話題になったことが同物件の企画のきっかけだったそう。各家庭で細々と野菜を作るのならば、自社で手掛ける屋上緑化を農園に変更すること。さらには野菜作りを通じて、親と子、入居者同士の交流に繋がれば自社の目標とする理想の住まいが提供できる、と企画をたてたのである。



▲屋上緑化マンションの実例